

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 伊藤 沙也花

1. はじめに

今回、平成28年2月27日から3月26日までの1か月間、ニュージーランドのオークランドにおいて短期語学留学を行いましたので、報告いたします。

2. 語学学校

オークランドのブリトマート駅から徒歩5分ほどのところにある EF Education first という語学学校に通いました。日本にいる間にテストを受け、その結果と実際に director of studies と個人面談をし、各々の何が苦手か、どこを伸ばしたいかをもとにクラスを編成してくれます。私のクラスにはスイス、フランス、スペイン、ボリビア、コロンビア、チリ、タイ、中国、サウジアラビアなどいろんな国の留学生がいました。そして毎週毎週また新たな留学生がやってくるので、その度に新しい出会いがありました。年齢層も幅広く世代や国を超えての交流はとても刺激的でした。通常の授業では1つのセクションについてリーディング、リスニング、ライティング、グラマーと1週間を通して完成させていきます。毎週金曜日にはそのセクシ

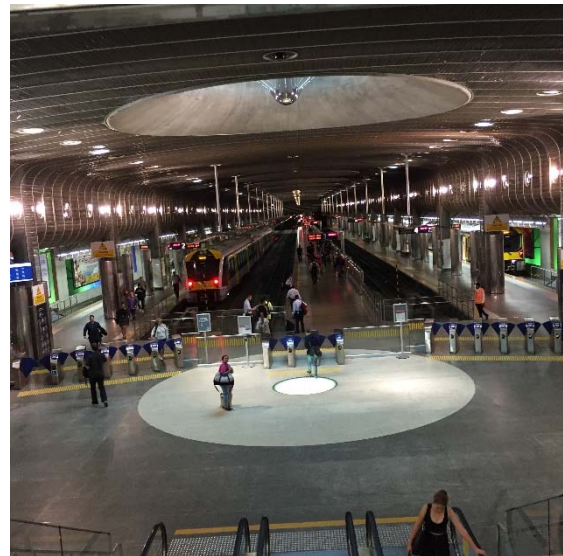


Figure 1 Britomart Station

ョンに関するプレゼンテーションを求められました。また、ニュージーラン

ド人が話すネイティブな英語を kiwi English というのですが、それについて学ぶ Regional Studies の時間もありました。その授業で学んだ単語を使って地元の人と会話ができたときは、ローカルな会話ができたように思えて嬉しかったです。

3. ホームステイ

マザーとファザー、そして三匹の猫がいるとても明るい家庭にステイしました。留学生は私のほかにチリ人の留学生が一人いました。その家庭はよく留学生を受け入れているようで、学校へ行くための電車のカードやその他もろもろ私が必要になる

であろうものは揃えてくれており、何不自由ない生活を送らせてもらいました。やはりネイティブの英語は速く、知らない単語が次から次へと出てくるので聞き取るのが最初は本当に大変でしたが、わかりやすい単語に言い換えてくれたり、こちら側もこういうことだよな？とほかの言葉を使って確認し、それがお互いに通じ合った時には本当に嬉しく、もっと会話ができるようになりたい、もっとうまく説明できるようになりたいとまたさらに強く思いました。最後には冗談まで言い合えるようになり、毎日がとても楽しかったです。一緒にした折り紙は非常に気に入ってもらえました。

また国よっての違いも実感しました。ルームメイトはチリ人で国柄、日常的にキスやハグをします。一方日本ではそのようなことは日常的ではありませんから、こちら側は何も思っていないし何も悪気はなくとも、スキンシップの多い国の人からすれば、言葉の挨拶だけでは、それだけなの？と物足りなく感じたり少しの戸惑いが生まれたりするそうです。お互いの国の文化を話し、理解し、そしてそれぞれの文化に対して柔軟に対応したり取り入れたりすることが比較的抵抗なくできるのも、留学ならではだなと感じたりもしました。



Figure 2 ホストファミリー



Figure 3 折り紙

4.最後に

今回、私が強く思ったことは、外国の人々は本当に積極的で活動的だということです。授業でも進んで発言しますし、間違えることを恐れていません。日本人は私も含め、やはり外国の人と比べるとシャイで自ら進んで発言しようとはしてなかったように思います。日本人がシャイなのは他人をリスペクトしているから、素敵だと、マザーは言ってくれました。奥ゆかしさや謙虚さという日本の文化からくる日本人の性質なのかもしれませんが、そこが日本人のいいところであり、また短所でもあると感じました。

薬学の三局と呼ばれる日本、アメリカ、ヨーロッパの中でも、やはりアメリカ、ヨーロッパは発言力が強いというのを先生から教えてもらったことを思い出しました。技術力はあるのに英語力や発言する積極性に欠けるために、他の国の後ろへ下がっ

てしまっているのはもったいないなと思いました。国際化がますます進む今日、やはり英語を勉強することはマストなことだと改めて感じました。

また、他国の留学生は非常に主体性が強かったように思います。まだ16歳17歳の子たちも自分の将来の夢をかなえるためにはこれをしなければいけないと非常に具体的な目的意識をもって、語学勉強をしていました。私はちょうど薬学部の6年間の折り返し地点にいます。彼らの姿を見て、残りの3年間をどう過ごしていくかしっかりと考えなければと思いました。

海外の文化や人々のエネルギッシュな姿勢、日本では感じることの難しい、海外だからこそ感じることのできる数々の感覚が私の内側を大きく変えてくれました。このような経験ができたのも国際交流基金の助成のおかげです。ありがとうございました。